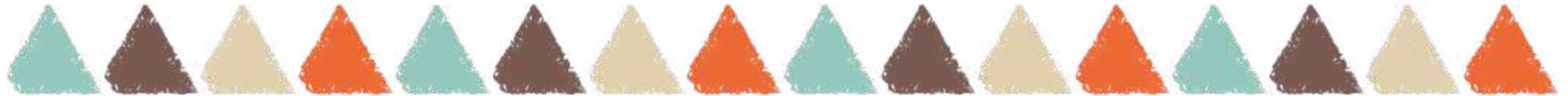


こどもたちの未来をはぐくむ理学療法士の働き方セミナー

児童発達支援事業での 理学療法士の働き方とやりがい



株式会社LITALICOパートナーズ
児童発達支援事業部
LITALICOジュニア関東第4G アシスタントマネージャー

後藤 颯人
(理学療法士)



1. 自己紹介と私が働いている場所について
2. 児童発達支援事業について
3. 児童発達支援事業での理学療法士の働き方
4. 子どもの発達支援に興味のある理学療法士の皆さんへ



1. 自己紹介と私が働いている場所について
2. 児童発達支援事業について
3. 児童発達支援事業での理学療法士の働き方
4. 子どもの発達支援に興味のある理学療法士の皆さんへ





経歴

- 東京工科大学医療保健学部理学療法学科を卒業
- 新卒時は神奈川県の療育センターに勤務
- 2018年にLITALICOに中途入社
- 児発/放デイの指導員を経験した後に、教室長→アシスタントマネージャー
- 兼業で発達の気になるお子さまのオンライン運動教室「へやすぽアシスト」や株式会社エデュリーの児童発達支援事業立ち上げに携わる

発達支援分野への想い

障害を持つ弟との生活、学生時代の教員との出会いで発達支援、障害福祉分野に興味を持ちました。

「障害」のある子ども、ご家族が

必要な支援に当たり前にアクセスできる社会をつくりたい



ビジョン

障害のない社会をつくる

障害は人ではなく、社会の側にある
社会にある障害をなくしていくことを通して
多様な人が幸せになれる「人」が中心の社会をつくる

LITALICO
りたりこ

- プラットフォーム基盤とリアル事業所を活用し、人生の各ステージに合った個別最適なサービスを提供

BtoC

教育

LITALICO ジュニア LITALICO コンター

Qunico

- 早期発見・診断
- 教育と療育

就職

LITALICO ワークス

ヒューマングロー

- 社会参加

生活

LITALICO Life

Amu 安住株式会社

- 住まい、医療、資産管理

老後

nagomi

- 老後

障害のある方の一生をサポートするサービス群

BtoB

LITALICO 発達ナビ

LITALICO 仕事ナビ

LITALICO キャリア

LITALICO 教育ソフト

かんたん 請求ソフト

かんたん 介護ソフト

NnOne+

障害のある方・福祉従事者・福祉事業者向けプラットフォームサービス群

多様なお子さまたちへの サポートを提供する教室を運営しています



東北/首都圏/東海/関西/九州

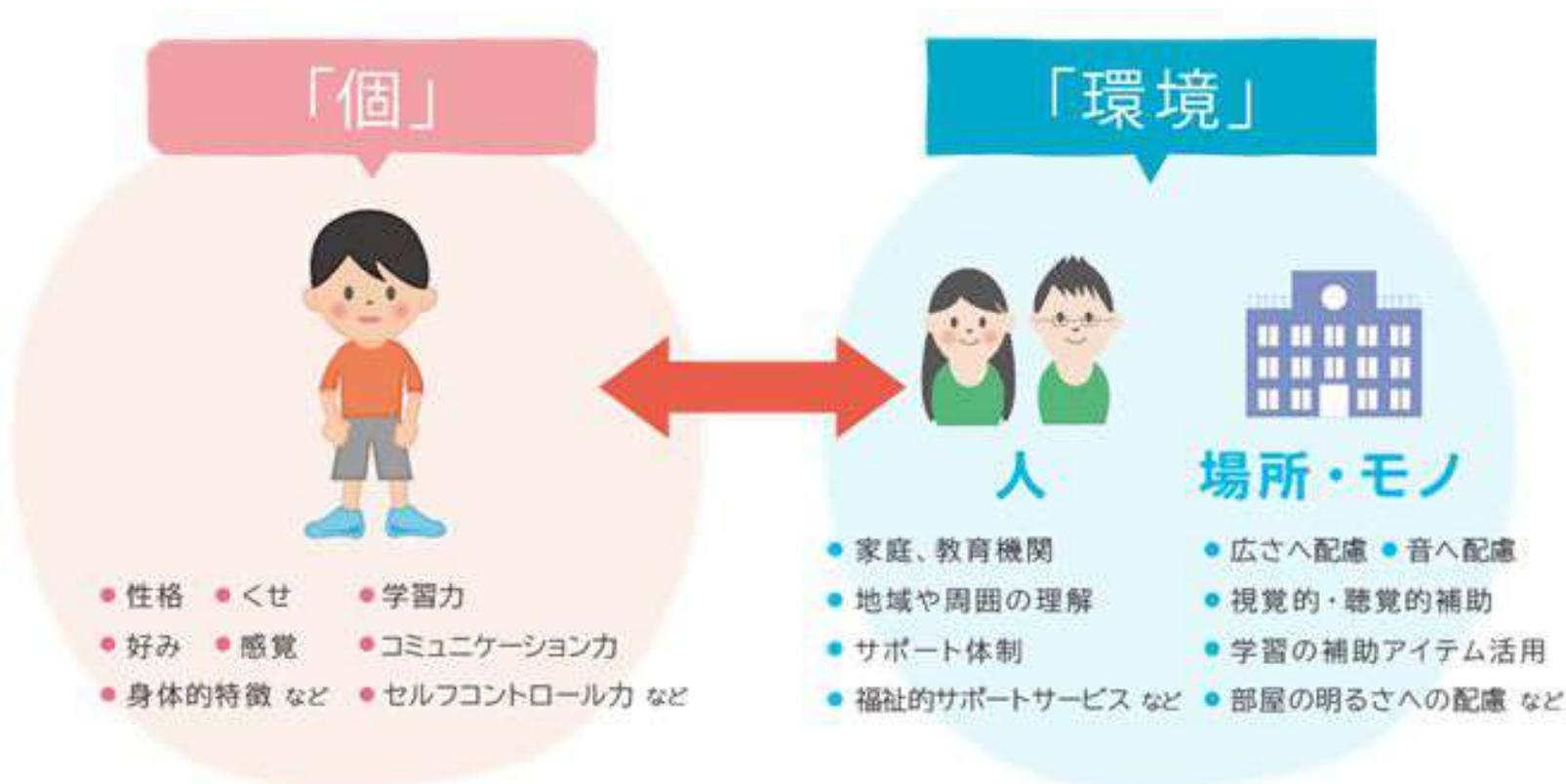
154事業所

生徒数

約9,900名



困りごとは子ども(個)と周り(環境)の相互作用によって生じます





児童発達支援

未就学のお子さまに対する
発達支援

放課後等デイサービス

就学児のお子さまに対する
発達支援
(小学校1年生～高校3年生)

保育所等訪問支援

お子さまの通う
保育所や小学校等への
訪問で行う発達支援



ペアレントトレーニング

児童発達支援・放課後等デイサービスに通う
親御様向けの支援



1. 自己紹介と私が働いている場所について
- 2. 児童発達支援事業について**
3. 児童発達支援事業での理学療法士の働き方
4. 子どもの発達支援に興味のある理学療法士の皆さんへ



児童発達支援事業とは？

児童発達支援事業とは、**児童福祉法**に基づくサービスの一つ。早期に必要な支援を受け、将来的な本人の負担を軽減するために、障害名の有無に関わらず、発達の遅れが気になるお子さまの利用も幅広くおこなわれている。**自治体から交付される通所受給者証**の支給決定に沿った日数と自己負担額の範囲で利用される。

通所受給者証

障害名や手帳の有無に関わらず、「身体に障害のある児童」「知的障害のある児童」「精神に障害のある児童」に対して**市区町村が発行する**

自己負担額

原則1割負担で受給者証に定められた上限額の範囲内での負担となる。幼児教育・保育の無償化により満3歳になって初めての4月1日から3年間は、利用者負担額が無料となっている。



児童福祉法

通所支援

入所支援

相談支援

児童発達支援



【対象】未就学児
【支援】
日常生活における基本的な動作、集団生活への適応訓練

放課後等デイサービス



【対象】小1～高3
【支援】
授業後や休業日に、生活能力向上、社会交流促進に必要な支援をする

保育所等訪問支援



【対象】
保育園、幼稚園
こども園、学校
児童養護施設 etc...

医療型 児童発達支援

居宅訪問型 児童発達支援



お子さまのアセスメント、親御さんからの情報収集から、
 そのお子さまにあった短期、長期の目標と支援内容の「個別支援計画」を立て、
 それに則り支援を提供する。

お子さまの観察
 保護者面談など

お子さまの様子やニーズを行動観察やアンケート等から把握します。

個別支援計画の作成

長期目標と短期目標を設定し、支援計画を立てます。
 例) 長期: 集団生活で他児とのコミュニケーションができる
 短期: 自分の意思や要求を伝えることができる

保護者の方と支援計画について面
 談、合意

保護者に支援計画について説明する面談を実施し、合意をいただきます。

支援の実施

個別支援計画の則り支援を提供します。

見直し・評価

児童発達支援管理責任者を中心に目標が達成できているか、支援計画の内容が
 確認、見直しをします。



多様な困りを持ったお子さま、ご家族が 通う場所

言葉の遅れが気になる

学習や運動面で同年代
の子より遅れを感じる

落ち着きがなく
よく動き回る

勉強が嫌いで学習意欲が
下がってしまっている

感情のコントロールが
苦手で、こだわりが強い

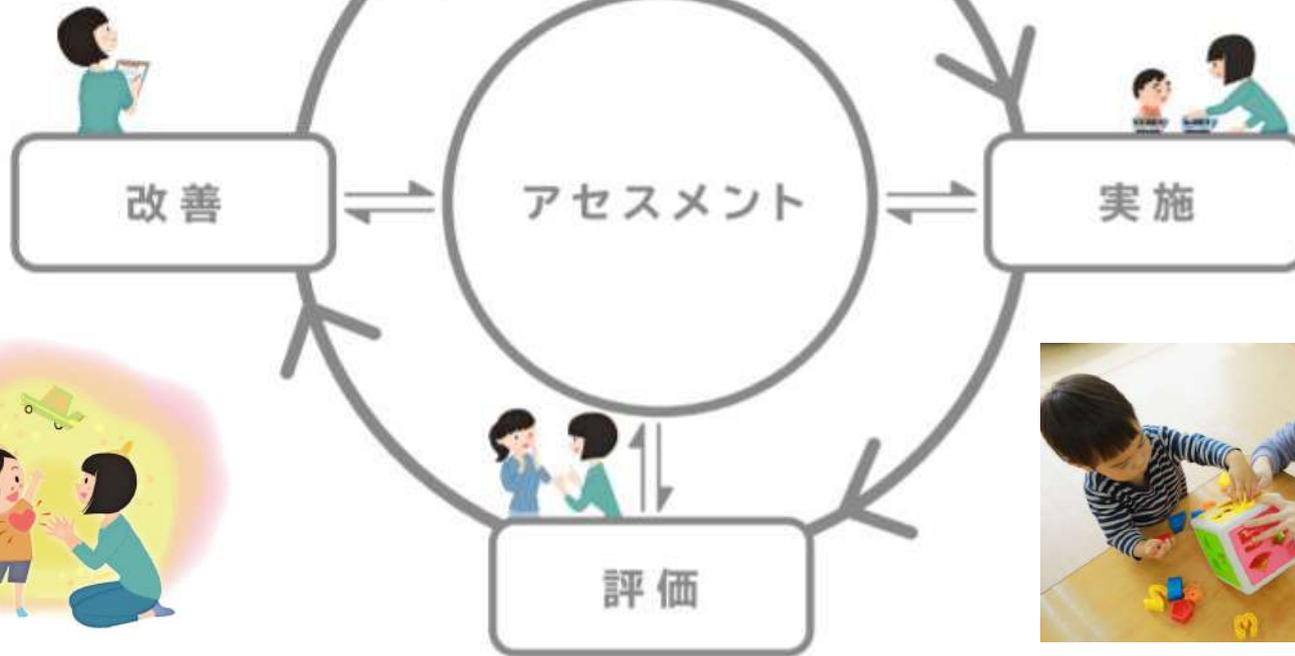


対人関係のトラブル
になりやすい



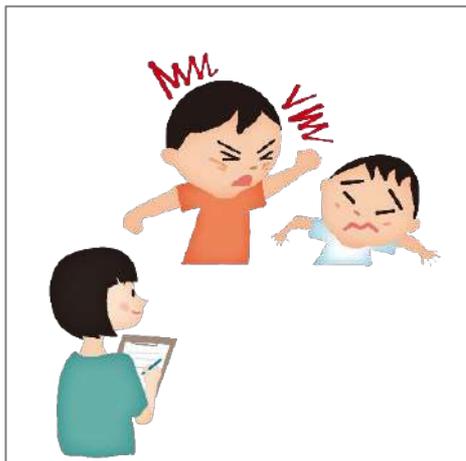


1年後の目標:		二歳まで自分の要求を周囲の大人に伝える。	
獲得スキル	準備・状況	半年間のステップ	達成基準
半年後の目標	【名詞】一般的な動物・乗り物・食べ物の実物やカードの中から、名称を聞いて該当するものを選ぶ	LITALICO指導の中で	80%以上
	【名詞】一般的な動物・乗り物・食べ物の実物・カードの中から、名称を聞いて該当するものを選ぶ	LITALICO指導の中で	80%以上
1年後の目標	意図や疑問の表出・伝達(話で意思を表現する)	LITALICO指導の中で	指導内で80%以上
	意図や疑問の表出・伝達(話で意思を表現する)	LITALICO指導の中で	指導内で80%以上



訪問支援で行っていること

観察



訪問しお子さまの普段のご様子を拝見します

手立ての相談



園/学校の先生に
お話を伺いし
手立てのご相談をします

直接の介入



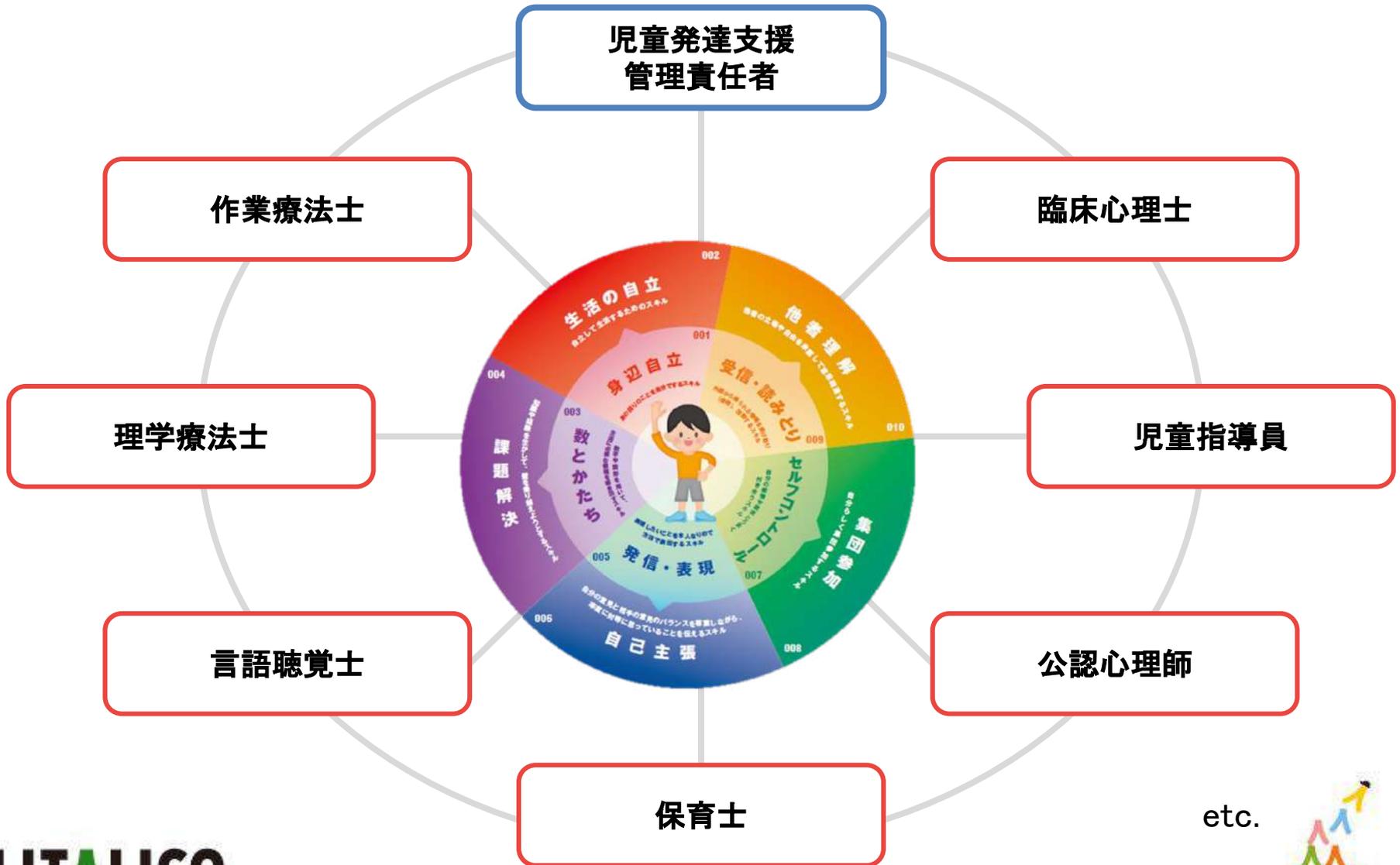
ご希望に応じて直接
お子さまへのサポートをす
ることもあります

親御様への報告



訪問支援記録をもとに
月に1回親御様に
ご報告をします





児童発達支援

理学療法士等
187単位
児童指導員等
123単位

専門的支援加算

理学療法士等
187単位
児童指導員等
123単位
その他
90単位

児童指導員等
加配加算

基準人員

保育士or児童指導員

《基本報酬》
885単位

保育士or児童指導員

児童発達支援
管理責任者

☆管理者

放課後等デイサービス

理学療法士等
187単位

専門的支援加算

理学療法士等
187単位
児童指導員等
123単位
その他
90単位

児童指導員等
加配加算

基準人員

保育士or児童指導員

《基本報酬》
授業終了後
604単位
休業日
721単位

保育士or児童指導員

児童発達支援
管理責任者

☆管理者

☆兼務可能

※定員10名以下の場合を記載



1. 自己紹介と私が働いている場所について
2. 児童発達支援事業について
- 3. 児童発達支援事業での理学療法士の働き方**
4. 子どもの発達支援に興味のある理学療法士の皆さんへ





支援形態、内容
支援の提供時間等は
事業所によって様々である

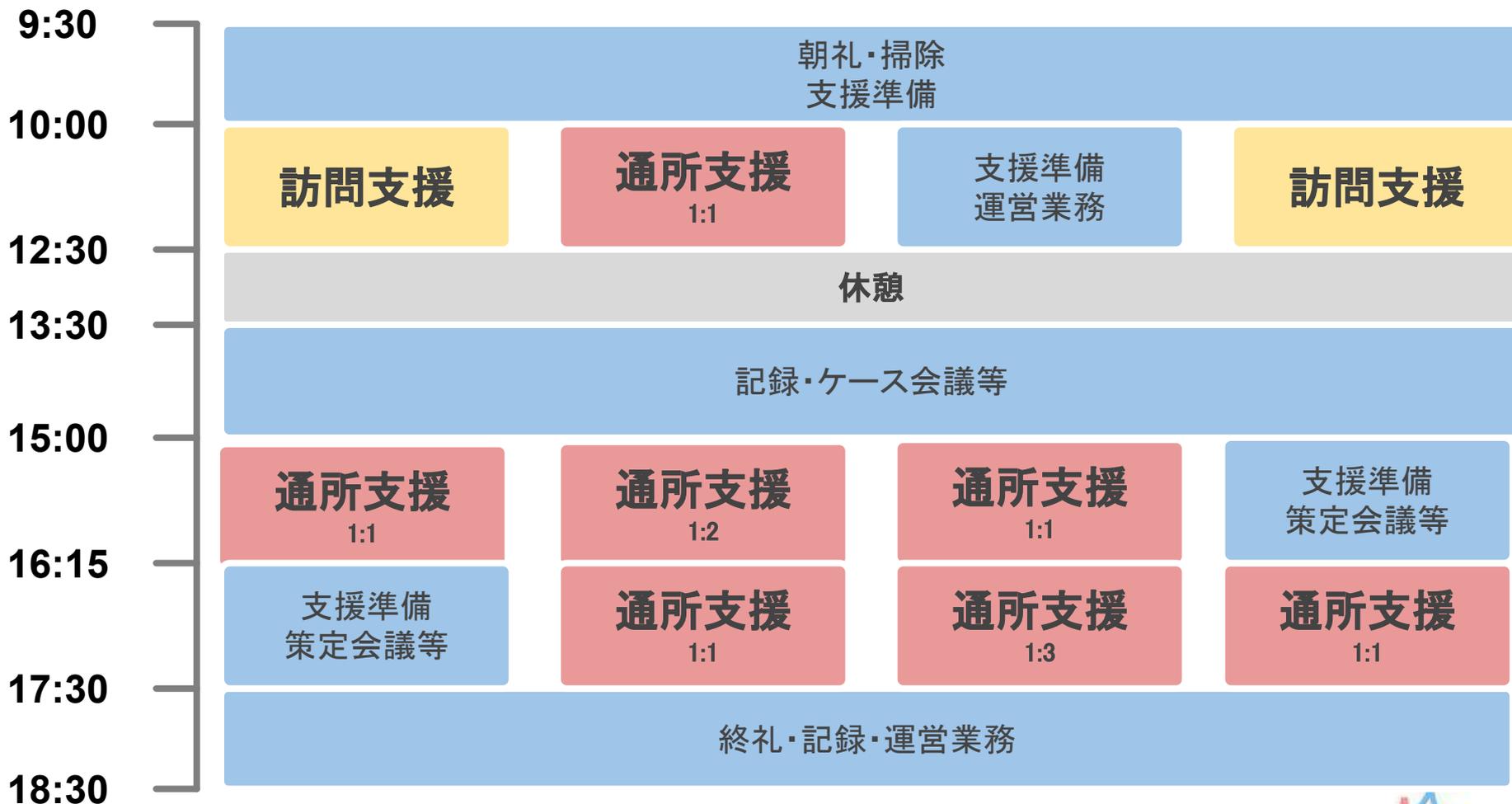


児童指導員

保育士

保育士

理学療法士



お子さま、ご家族の今と未来の幸せ



支援

支援の実施・準備、支援計画の作成、教材作成

研鑽

ケース会議、研修、OJT

コンプラ

法令理解、書類作成、利用スケジュール管理

運営

稼働/売上管理、採用、訪問先への事業説明

PTも児童発達支援事業の「1スタッフ」として幅広い視点と業務が求められる



理学療法士でも 運動面以外の目標を立てているお子さまの 支援を行うこともある

言葉の遅れが気になる

学習や運動面で同年代
の子より遅れを感じる

落ち着きがなく
よく動き回る

勉強が嫌いで学習意欲が
下がってしまっている

感情のコントロールが
苦手で、こだわりが強い



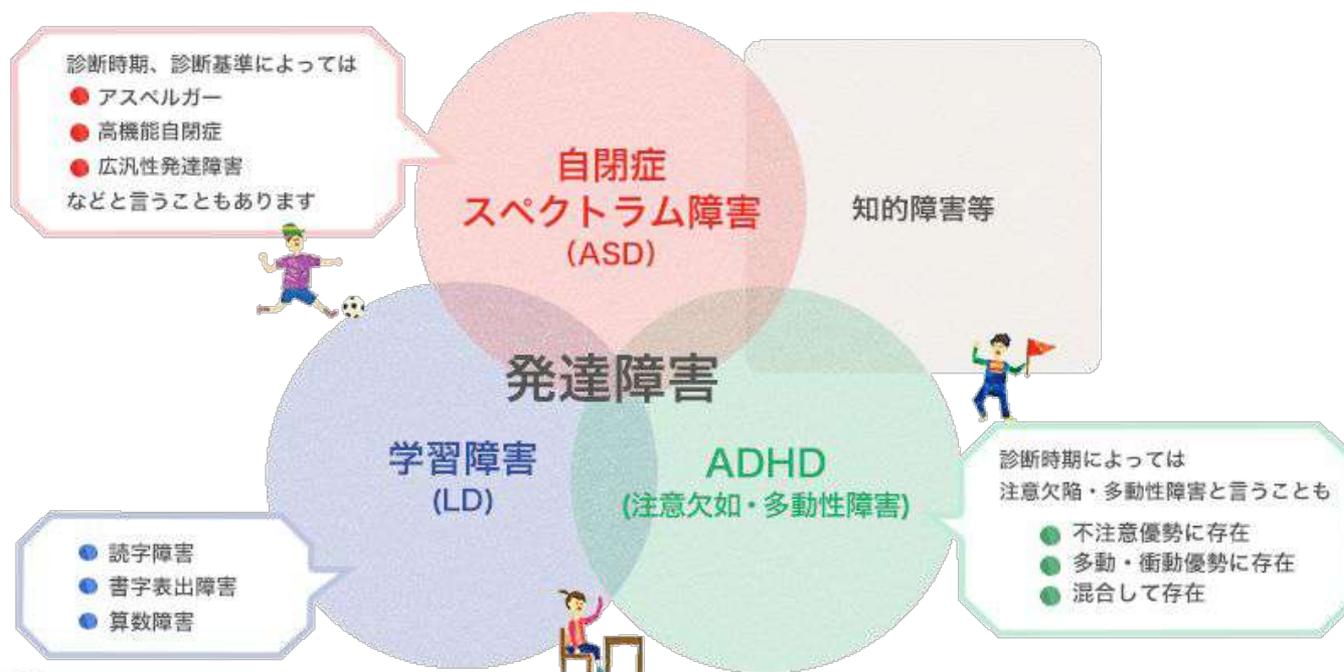
対人関係のトラブル
になりやすい



発達障害とは？

発達障がいとは、通常低年齢で発現する脳機能障害のことです。生まれつきに、時には生後の問題によってみられる脳の働き方の違いにより、身体の手操作、そして環境や他者との関係性構築がうまく出来ず、「生活のしにくさ」を感じる人が多い脳機能障害です。理学療法士ができる評価と、適切な介入で一定程度解決できます。

(日本理学療法士協会：発達障がい児に関する理学療法士向けパンフレットより)





2005年の「発達障害支援法」施行をきっかけに広く一般の人にも知られるようになったんだ

発達障がいに含まれる障害

発達性協調運動障害 [DCD]

特徴 姿勢と運動の未熟さ

発達性協調運動障害は、自閉症などに比較して、広く知られてきませんでした。以前は、広汎性発達障害と合併する場合、広汎性発達障害が優先され、診断名として「発達性協調運動障害」の記載がされなかったためです。診断基準改定後、合併症として記載されるようになり、診断数も増加し、発達性協調運動障害を含めた4障害を示すことが多くなっています。

この発達性協調運動障害には
理学療法でアプローチ
できるかもしれないね!



2 理学療法に何が出来る？

感覚異常も発達障がいの特徴

一般的には、発達障がいはコミュニケーションスキルや社会性の問題として捉えられることが多い障がいです。しかし、発達障がいに共通した身体機能の特徴として、感覚異常があります。

● 最近の脳科学研究の報告 ●
社会性の障がいも、協調運動の障がいも、感覚に関する共通した問題が存在している
「コミュニケーションスキル・社会性」も「運動」も、自身を原点として他者や周囲の状態を直し取り対応するという、共通した過程をたどるとされています。

感覚の異常があると…

- × **社会性** コミュニケーションスキル
- × **運動機能** 姿勢のコントロール/協調運動

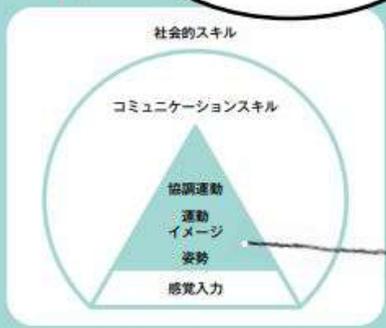
ところが…

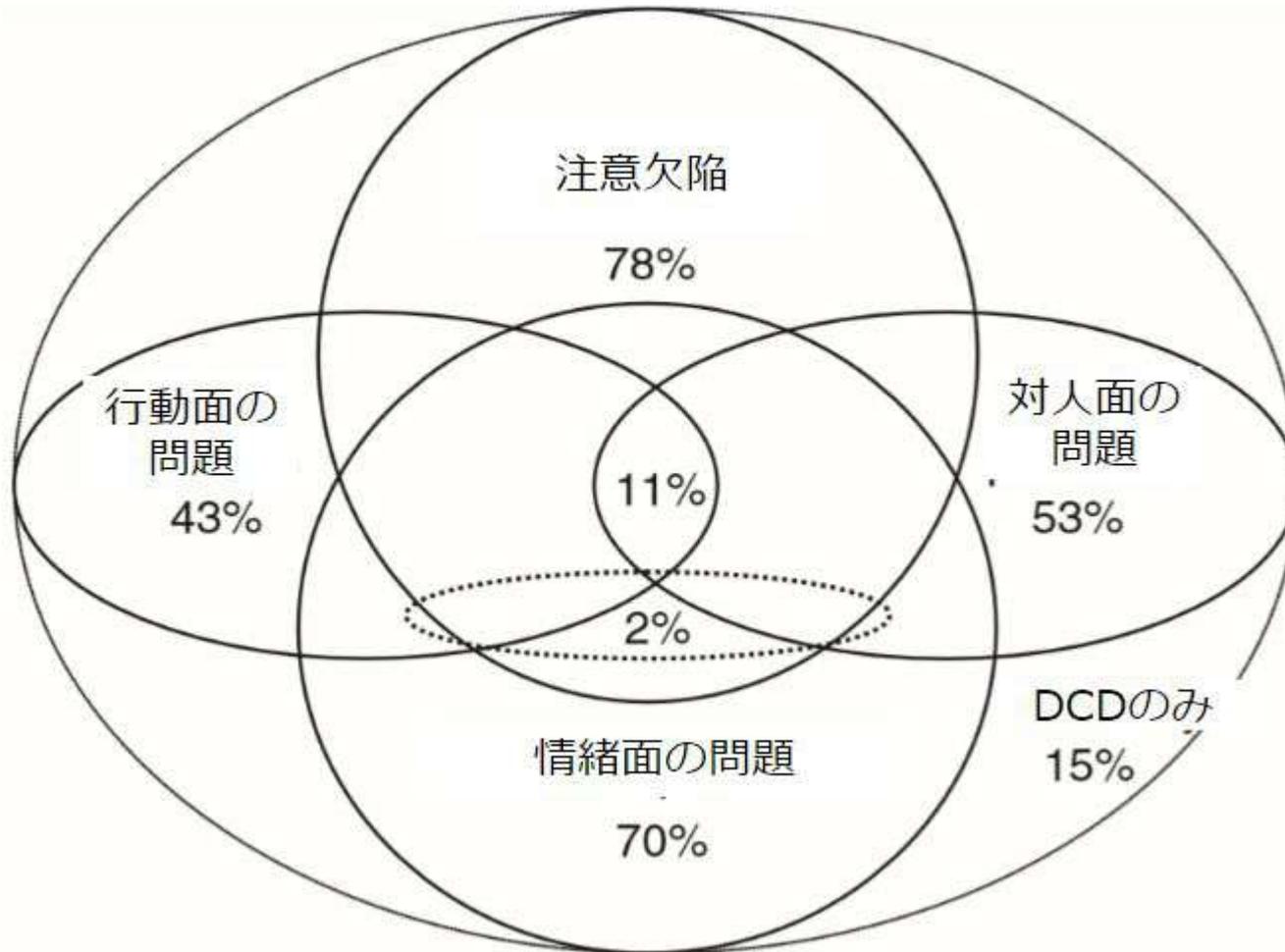
言語や社会性の面から発達障がいが発見されるのは、2、3歳以降。でも運動機能のつまずき(問題)については、保護者が問題意識を持っていない場合が多いから、注意が必要なんだ。

● 椅子に座る姿勢が悪くすぐに机に寄りかかると
● 転びやすい

ここに理学療法の介入のポイントがあるね!





(Rainer B, Anna L B, et.al: International clinical practice recommendations on the definition, diagnosis, assessment, intervention, and psychosocial aspects of developmental coordination disorder, 2019より改編)



お子さま、ご家族の今と未来の幸せ



ST

OT

PT

児発管

児童
指導員

保育士

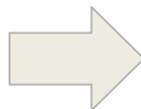
心理

多様な視点でお子さんのアセスメントを行い
チームで支援を届けていく





一人職場になることも
多く不安



LITALICOジュニアでも
拠点ごとでは一人職場になることもある

LITALICOジュニアでの取り組みの一例

ボディ面談



オンラインや対面で同職種の
先輩社員と定期的な相談が
できる機会の設定

動画での振り返り



各教室のモニター録画での
振り返りやオンラインでのFBを
もらうことができる

オンラインゼミ



全国のセラピストとオンラインで定
期的な勉強会やケース相談の
機会をつくる



1. 自己紹介と私が働いている場所について
2. 児童発達支援事業について
3. 児童発達支援事業での理学療法士の働き方
4. **子どもの発達支援に興味のある理学療法士の皆さんへ**



小児分野は難しい



<小学校・中学校>¹

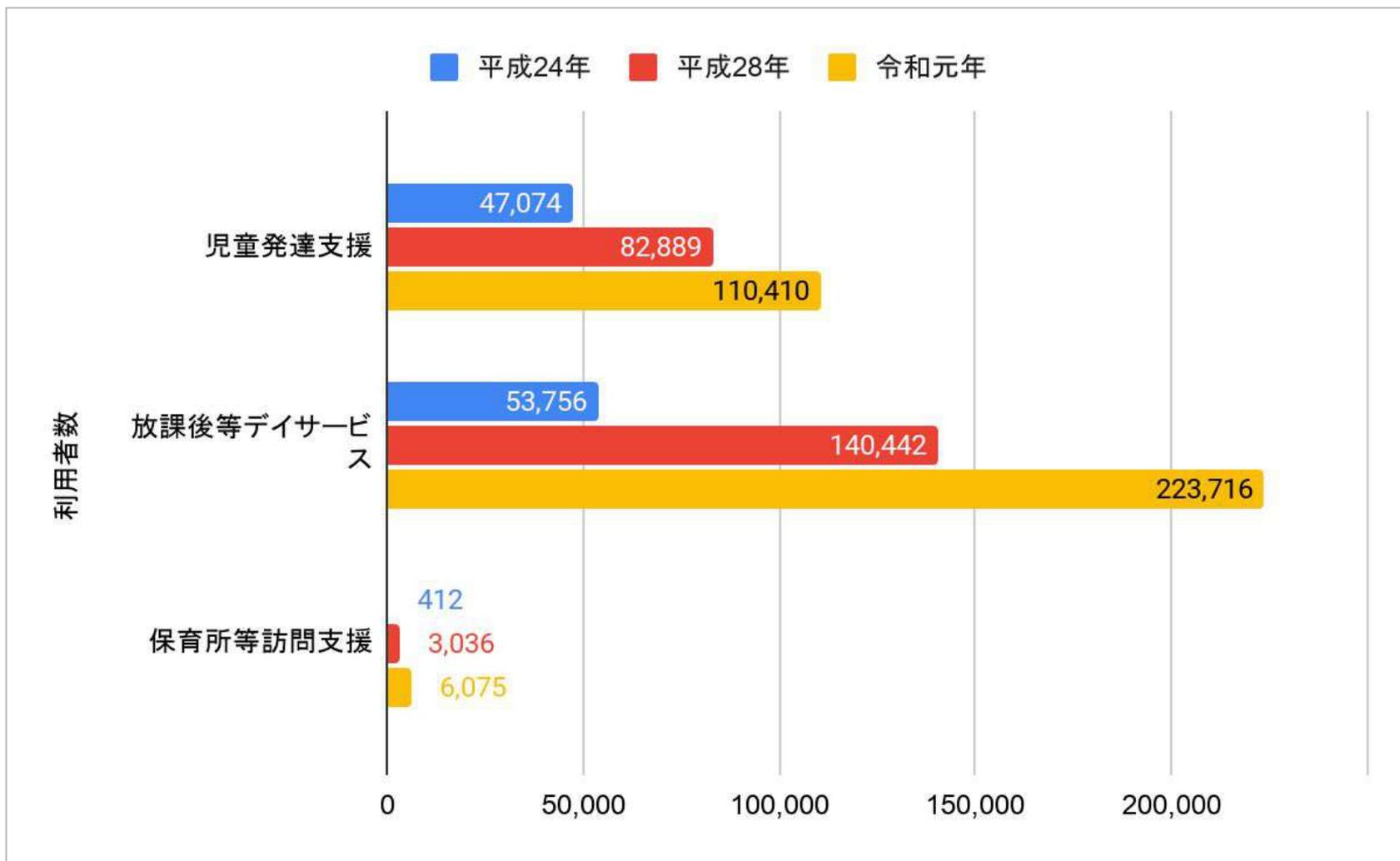
	推定値 (95%信頼区間)
学習面又は行動面で著しい困難を示す	8.8% (8.4% ~ 9.3%)
学習面で著しい困難を示す	6.5% (6.1% ~ 6.9%)
行動面で著しい困難を示す	4.7% (4.4% ~ 5.0%)
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	2.3% (2.1% ~ 2.6%)

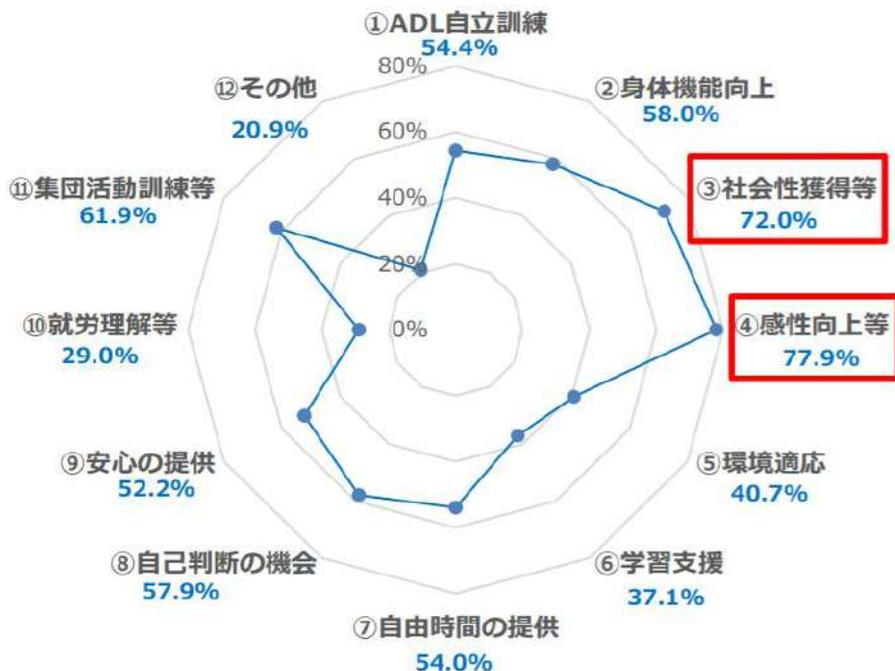
<高等学校>

	推定値 (95%信頼区間)
学習面又は行動面で著しい困難を示す	2.2% (1.7% ~ 2.8%)
学習面で著しい困難を示す	1.3% (0.9% ~ 1.7%)
行動面で著しい困難を示す	1.4% (1.0% ~ 1.9%)
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	0.5% (0.3% ~ 0.7%)

引用: 文部科学省通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果(令和4年)について







(各項目の内容)

- ① 基本的なADLの自立訓練
- ② 身体機能の向上
- ③ 社会性やコミュニケーションスキルの獲得
- ④ 感性と表現力の向上
- ⑤ 身近な環境へのかかわり
- ⑥ 学習教材や宿題等への取組、学習支援
- ⑦ 本人が自由に過ごせる時間の提供
- ⑧ 本人自身が将来や関心について考える機会
- ⑨ 安心安全が確保されたリラックスできる場の提供
- ⑩ 働くことへの理解や働く場との接点の提供
- ⑪ 集団での活動への慣れや訓練
- ⑫ その他

※ 複数回答可。各項目の選択率を%で表示



必要な支援にアクセスできていない障害を抱える
お子さま、ご家族はまだまだいる

